



みはらっせのお好み焼

ハイ  
おまじゅく

一人ふかあし

人情

旅

「特集」みはらっせお好み焼へらへら巡り その①



今年の夏は暑かったねえ  
「ほうじゃねやれんかったねえ」

なぜだろう、鉄板の前に座るとしぜんにこんな言葉が出てくる。カシヤカシヤ、ジュウジュウと目の前で、ソバや野菜や肉がまあるく焼かれていく。おばちゃんの見事なへらさばきを見ているだけで心がなごんでいく。何だろう、このやすらぎ感は？ お好み焼のせいなのか？ おばちゃんのせいなのか？

「はいお待たせ、そば、肉、玉ね」  
香ばしいソースの匂い。へらの感触。お好み焼は私たちの小さなふるさとなのかもしれない。「いただきまーす」

世羅で一番古いお好み焼屋  
世羅町役場近くにある創業22年の「山じょう」。鉄板ごしに話すおばちゃんとの世間話にホッとする。



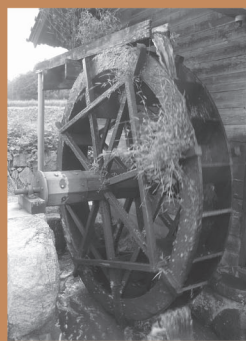
コレナンダー

「コレナンダー」はみはらっせエリアで発見した、読者のみなさんの「これ何だ？」に編集室がお応えしていくコーナーです。

みはらっせの  
コレナンダー  
その②



この水車は久井地区でアイガモ農法でお米をつくっている西谷洋司さんが平成8年に建てた水車小屋。中には実際に臼をつく装置がある。



そばに寄るとかなりでかい。クルクルまわる水車の下に大きな鯉が2匹泳いでいた。 マップP7-B

Q 久井の岩海に行った帰り、ちよつと変わった水車小屋を発見！屋根に「ソース」と書いてあったのですが、これって、何か意味があるのですか？まさか、ソースの複数形ということではないですよね。  
(フスハラ家族・32歳・東広島市)

A 残念ながら、ソースの複数形ではありません。「ソース」とはこの久井地区の方言で水車のことを言うそうです。漢字で書くと「添水」（そうず）。広辞苑によると「竹筒に水を引き入れ、たまる水の重みで反転した竹筒が石などに当たって快い音を立てるようにした装置。ししおどし。」とあります。このへんのことからたぶん水車小屋の意味になったと思われるます。それにしても、なぜ「ソース」と屋根に入れたのか？持ち主の西谷洋司さんに聞いてみると「最近の人はソースゆうても知らんじやろう。この言葉を残したかったんだよ。ま、ワシが変わりもんじゃけーのう、ハハ！」と笑って説明していただいた。  
(編集室・みはらっせお好み焼男)

ソースの謎？